

令和7年10月29日

No. 8



発行責任者

校長 有崎 美紀

自ら伸びる



府中中央小学校ホームページ <http://chuosho.fuchu-town.ed.jp>

「生きた言葉」で学びを掘る

3年3組山本夢学級の児童の国語科「ちいちゃんのかげおくり」の学習後の感想です。

「ちいちゃんのかげおくり」を学習して、ちいちゃんの前向きな心がすごくゆうかんだと思いました。せんそうはしてもいいことなんてない。楽しい時間や日常すべてをうばったけど、一つだけうばわれてないものがあるね。それは、ちいちゃんが家族と会いたいと思う気持ちだよ。だけど、もう、こんなあらしいや黒い雨をふらせてはいけないね。今はもう、せんそうがなくてちいちゃんの気持ちがわからない。だけど、ちいちゃんをよくがんばった。だから、つぎは、ちいちゃんがみんなのへいわをみまもってほしい。もし、ちいちゃんがうまれかわるなら、友だちになってほしいな。これからも、げんぱくやせんそうの本をよんで考えるね。

(児童)

わたしが「ちいちゃんのかげおくり」を読んで思ったことは、せんそうはいけないことと、もう二度とせんそうはおきてほしくないという思いです。

今もウクライナとロシアでせんそうはおきているけれど、それでもがんばる人たちがいるから、今のわたしたちがいるし、生活できているんだと、この「ちいちゃんのかげおくり」という話を読んでわかりました。あらためて思ったことは、せんそうは、こわいもの、かなしいものということです。本の中にありましたが、うばわれていないものはちいちゃんが家族に会いたいという気持ちでしたね。わたしは先生からこれを聞いて心をゆり動かされました。

(児童)

これらの子どもたちの言葉は、教師の深い教材研究があってこそ！教師のしごとの真髓を若い先生が追求されていることを嬉しく思います。

はちの子デー ～縦割り班遊びで、つながりを深める～

9月25日(木)の大休憩に「はちの子デー」を行いました。サマータイム日課のロング大休憩を活用し、教室で縦割り班遊びを行いました。カードゲームやハンカチ落とし、爆弾ゲーム等、6年生がリーダーとなり、みんなが楽しめる遊びを考え、1年生から6年生までが遊びを通して親睦を深めました。子どもたちは、今後も縦割り班活動を通して、高学年は低学年を思いやることを、低学年は高学年に憧れお手本にして行動することを学びながら、「自ら伸びる」子どもを目指してほしいと願います。



班のみんなで、じゃんけん列車。だれが1番かな？



トランプで神経衰弱。誰が先にあがるかな？

ハンカチ落とし中。誰に落とされるかな？



「自ら伸びた」野外活動

10月7日(火)・8日(水)、5年生が国立江田島青少年交流の家で野外活動を行いました。「協力・自立・責任～周りを見て行動し、団結力を深める野外活動にしよう～」を目標に、学年や学級、そして自分を伸ばすために活動に取り組みました。

1日目は6艇に分かれてのカッター研修とファイヤーの集いを行いました。絶好のカッター研修日和の中、気持ちのよい海風を感じながらカッターに乗りました。始めは櫂をこぐタイミングが合わずなかなか前へ進みませんでしたが、息や気持ちが合ってくると櫂をこぐタイミングも合い、沖へ出ることができました。夜はファイヤーの集いで、ダンスやじゃんけん列車やゲーム「魚島木」等でとても盛り上がりしました。

2日目は、カプラを行いました。班のみんなで協力しながら、より高く積みんだり、クラスみんなで協力してナイアガラの滝を作ったりしました。

この2日間で、お互いが楽しく過ごすためにはどうしたらいいかを考えたり、相手を思いやり前向きな言葉を掛け合ったりしながら過ごすことができました。また、自分たちが今何をすればいいかを考え行動する力をつけ、集団としても個人としても大きく成長することができました。



協力して、より高く積むよ。でも崩れないようにそっとそっと…。

みんなで息を合わせて
1・2・3!



「協力・自立・団結の火」を
囲んで、盛り上がりました。



クラスみんなで
団結して、巨大な
ナイアガラの滝を
作りました!!



バイキングの食事
楽しみの1つ。おい
しくいただきます。



【結団式児童代表の言葉】

5年 代表児童

皆さんは野外活動で協力・自立・責任の3つの中で、どんな力を身につけたいですか。ぼくは自立を頑張りたいです。ぼくの弱いところは、時間を守ることや整理整頓をすることです。9月からは着ベルを意識して行動してきました。野外活動では、時間を見て行動したりしおりを見て必要なものを確認したりしたいです。みなさんも自分の立てた目標が達成できるよう行動し、団結力を深めていきましょう。

【出発式児童代表の言葉】

5年 代表児童

今日は、みんなが楽しみにしていた野外活動です。皆さん、野外活動の目標を覚えていますか。目標は、「周りをよく見て行動し、団結力を深める野外活動にする」です。ぼくは、野外活動で時間を見て自ら行動し、仲間と協力する力を身につけたいです。皆さんも全体の目標と自分の目標を意識し、野外活動を支えてくださる保護者の皆様や先生方に感謝を伝えられるような野外活動になるようにがんばりましょう。

【帰校式児童代表の言葉】

5年 代表児童

私はこの野外活動で、「協力・自立・責任 ～周りを見て行動する～」ということができたと思います。「協力」は、カッター研修でみんなと声や力を合わせてこぐこと、「自立」は、日々の生活と同じように、掃除の時間に与えられた仕事をしっかりとすること、「責任」は、班での自分の役割を果たすことだと思いました。野外活動を通して、私は「協力・自立・責任」を学びました。この「協力・自立・責任」は高学年として大切な目標だと思います。この目標を意識して、最高学年に向けてがんばっていきたいと思いました。

私たちの野外活動に協力してくださった江田島の方々、先生方、家族の皆さん、本当にありがとうございました。感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

PTA親子ふれあい清掃～校舎もグラウンドもピカピカに～

9月27日（土）、PTA親子ふれあい清掃が行われました。保護者、児童、教職員等、合わせて200名近くの参加があり、約1時間半をかけて清掃が行われました。

教室の窓・床拭きやトイレ清掃、グラウンドの草取りや側溝の土砂さらい等、毎日の児童との掃除では、行き届かない場所をきれいしていただくことができました。

ご参加いただいた保護者や地域の皆様、ふれあい清掃を運営して下さった保健厚生委員の皆様、ありがとうございました。

普段できない側溝の土砂もきれいに気持ちよく。



床だけでなく、窓や高い所もピカピカに。

手洗い場やトイレも隅々まで丁寧に磨きます。



第60回広島県小学校理科教育研究大会

10月17日（金）、本校において、広島県小学校理科教育研究大会が開催されました。大会主題「グローバル社会を生き抜く心豊かな人間を育てる理科教育」のもと、安芸郡小学校教育研究会理科部会において長年取り組んできたテーマ「自ら課題を見付け、主体的に解決する理科教育の在り方」について授業を公開することで、今求められる教育の有りようを世に問うことをねらいとして、3年生から6年生までの1学級ずつが授業を公開しました。子どもたちは、実験や観察を通して積極的に話し合ったり、主体的に課題解決したりする中で、理科を学ぶ楽しさを味わいました。教職員もまた、ものづくり体験や授業参観等を通して、理科の授業改善や教材づくり等について学びました。この研究大会を通しての学びが、今後の中央小での様々な学びにつながっていくことと思います。

物が水に溶けた時、溶けた物はどうなっているの？



粘土の形が変わると、重さは変わるのかな？



プログラムのどこをどのように変えるといいかな？



閉じ込めた空気と水を圧すと、体積はどうなるかな？



通学路を一緒にご確認ください

先日、近隣小学校の児童が、交通事故に巻き込まれる重大事案が起きました。交通事故の恐ろしさを改めて感じるとともに、安全な登下校を願うばかりです。学校でも登下校時の通学路の歩き方につきましては、度々指導を行っています。本校の校区内は交通量が非常に多く危険な交差点もあるため、たくさんの地域の方々による見守りや声かけもしてくださり、感謝しています。ご家庭においても、通学路についてお子さんと一緒に再度確認いただくとともに、安全な登下校の仕方についても声かけをお願いします。

出欠席・遅刻・早退の連絡について

コドモンで出欠席や遅刻や早退の連絡をされる場合には、当日朝の8時5分までにお願いします。それ以降や授業中になりますとコドモンの確認が難しくなりますので、ご協力をお願いします。

「じまんの俳句」代表作品

朝夕が肌寒くなり、秋の深まりを感じられるようになりました。今回は、夏休みの思い出や修学旅行を詠んだ作品を紹介します。

ドキドキと さびしさ乗せて バス走る

六年 代表児童

六年生は、先日、修学旅行に出かけました。その時の気持ちを詠んだ俳句です。しかも、修学旅行に出発したばかりの気持ちだと思われそうです。きっと、初めてで楽しいことがありそうでドキドキする期待感と、一方で、家族から離れていく寂しさの両方が入り混じった複雑な気持ちを、うまく表しています。そんな○○さん、きつと、帰ってくる頃には寂しさなんか吹っ飛んで、楽しかったという気持ちでいっぱいだったことでしょう。

妹の 初恋 きつと アンパンマン

四年 代表児童

この俳句は、やはり「アンパンマン」という誰もが知っているキャラクターの名前が使われていることで、秀でた作品になりました。今、学校の中央階段には、アンパンマンの歌が掲示してあります。誰にでも優しく、そして勇気を与えてくれる正義の味方であるアンパンマンのことが、妹さんは大好きなんですね。そして、それを「好き」ではなく、「きつと初恋の相手だろう」という表現の仕方が見事です。作者の妹さんに対する優しいまなざしも感じられる作品です。

なつやすみ かぶとのたたかい ととのうえ

一年 代表児童

一年生は、「夏休み」という五音を使って、俳句を作りました。この俳句の良いところは、なんと「ととのうえ」です。作者の○○さんは、お父さん、お母さんのことを「とと」「かか」と呼んでいるそうです。つまり、お父さんのお腹の上で、カブトムシが戦っているのでしょう。夏休みのある日、大好きなカブトムシを、お父さんのお腹の上に乗せて戦わせている、それを嬉しそうに見ている○○さんだけでなく、お腹に虫を乗せられてお父さんの笑顔まで見えてくる、そんな微笑ましい作品です。

☆「環境啓発ポスター・標語コンクール」受賞おめでとうございます☆

個人情報のため掲載しません。

「ひろしま教育ウィーク(学校へ行こう週間)」

11月4日(火)・5日(水)の2～4校時は保護者の皆様の自由参観です。また、11月6日(木)の2校時は学校運営協議会委員さん対象の参観日、11月7日(金)は、午前中は学習発表会及び町内会長さんや民生児童委員さん対象の参観日であるとともに、午後からは5年生児童対象の引き渡し訓練を行います。来校いただき、子どもたちの学校の様子を是非ご覧ください。(駐車場はありませんので、自家用車での来校はご遠慮ください。)